

○始業式・花まつりの様子と生徒の感想



新任の先生による灌仏



大聖院ご住職 鷲雄興春僧正による記念法話

☆新入生代表の生徒の感想

1年 M.Hさん

入学前に、自分がこれからどうしたいのかを考えながら新入生挨拶の原稿を書きました。緊張はしましたが、しっかりと準備をしてきたので、自分の考えを他の生徒や先生方にしっかり伝えられたと思います。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

今日の始業式・花まつりの法話にもあったとおり、目標を持って取り組むことを心がけようと思います。



教室で読経をする生徒たち

☆オンラインで参加した生徒の感想

1年 K.Hさん

花まつりに参加して、仏教をとっても大切にされた式典であると感じ、私たちもしっかりと参列しなくてはいけないと思いました。初めに「花まつり」と聞いたとき、屋台などが並ぶお祭りのようなものを想像しました。しかし実際は、お釈迦様の誕生日を祝う大切な行事であり、般若心経を唱え、法話を聞くなどの形式で、始業式とともに行われることが分かりました。

私は、花まつりの歴史とその由来が気になり、調べてみました。

花まつりはもともと、お釈迦様が生まれたとされるインドで広く行われ、その後に中国、日本へ伝わったそうです。日本には奈良時代の誕生仏（花まつりで使われる仏像）が残っており、この頃すでに花まつりが行われていたと考えられています。花まつりがこんなにも長く行われていると知り、少し興味を持ちました。